

片頭痛のお薬

片頭痛は慢性頭痛の中でも生活支障度の高い頭痛です。今回は、片頭痛の治療に使用される薬をご紹介します。

■ 片頭痛治療薬

① 鎮痛薬（商品名：ロキソニン、カロナール等）

非ステロイド性消炎鎮痛薬（NSAIDs）やアセトアミノフェンがあります。市販の痛み止めもこちらに含まれます。どちらも痛みに対する対症療法であり、頭痛の原因を治すものではありません。

② トリプタン製剤（商品名：イミグラン、ゾーミック、マクサルト、レルパックス等）

頭痛を根本から治す薬です。発作が始まってから 30 分以内に使用すると効果が高いといわれていますが、頭痛が起こっていない場合に使用すると効果がありません。剤型はスタンダードな錠剤、水なしで服用できる口腔内崩壊錠・速溶錠、吐き気があっても使用でき早く効く点鼻薬、さらに早く効く注射剤の 4 種類があります。非常にまれで

ですが、使用後に血圧の低下、冷や汗、呼吸困難、胸の圧迫感、てんかんのような発作や、一時的に吐き気やめまいが起こることがあります。



【使用方法】

- 錠剤、口腔内崩壊錠・速溶錠

頭痛が起きたら 1 錠服用します。効果が不十分な場合は 2 時間以上の間隔をあけてもう 1 錠使用できます。トリプタン製剤の中には、1 回 1 錠で効果が不十分であった場合には次回発作時から 1 回 2 錠使用できるものもあります。

- 点鼻薬

頭痛が起きたら1個使用します。効果が不十分な場合は2時間以上の間隔をあけてもう1個使用することができます。錠剤との併用は2時間以上の間隔をあける必要があります。

- 注射

発作が起きたら1回皮下注射します。24時間以内に発作が起きた場合はもう1度注射できますが、最低1時間の間隔が必要です。病院で行う注射と自己注射があります。

③ 制吐薬（プリンペラン、ナウゼリン等）

片頭痛は吐き気を伴うことがあるため、吐き気止めを使用することがあります。

■ 片頭痛予防薬

① カルシウム拮抗薬（商品名：テラナス、ミグシス）

脳の血管が収縮するのを抑えることにより、頭痛の回数を減らします。頭痛の発作が起きた時に服用しても効果はありません。基本的には1日2回毎日服用していただくお薬です。頭痛のコントロールが良好であれば、減量や服用を中止することも可能です。眠気、ほてり、ふらつき、吐き気などが現れることがあります。国内で片頭痛予防に保険適用があります。

② 片頭痛の予防薬として抗てんかん薬や抗うつ薬なども使用されることがあります。



このように片頭痛の薬も様々であり、その方に合った薬を正しく使用することが大切です。

薬剤部 黒澤 真帆
脳神経外科 准教授 柴田 靖